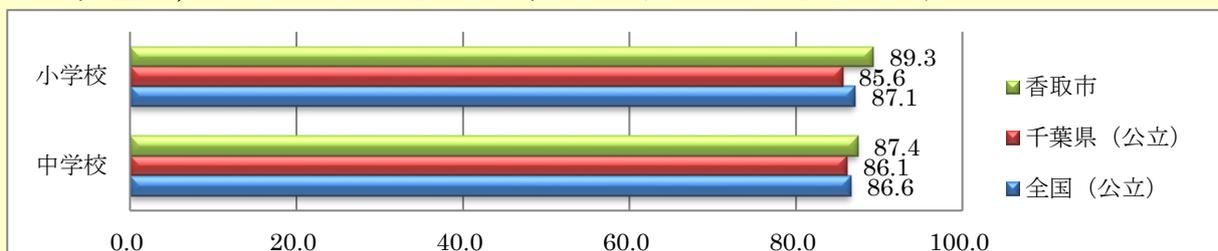


## 7 生活習慣や学習習慣等について

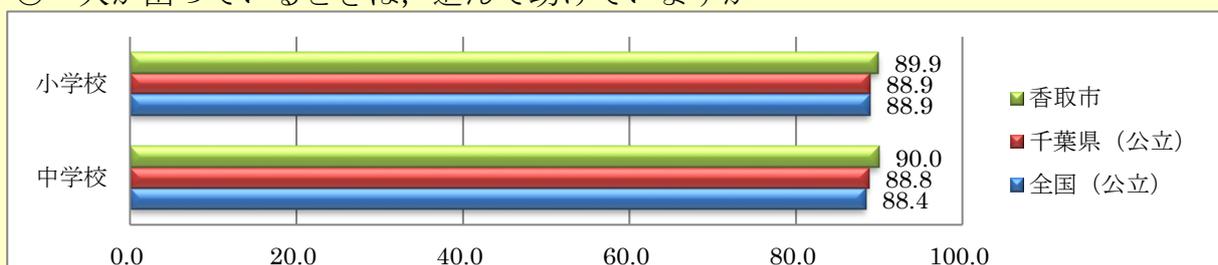
### 児童・生徒質問紙調査の結果から

※児童・生徒質問紙から一部を抜粋 ※数値は肯定的な回答をした児童・生徒の割合 (%)

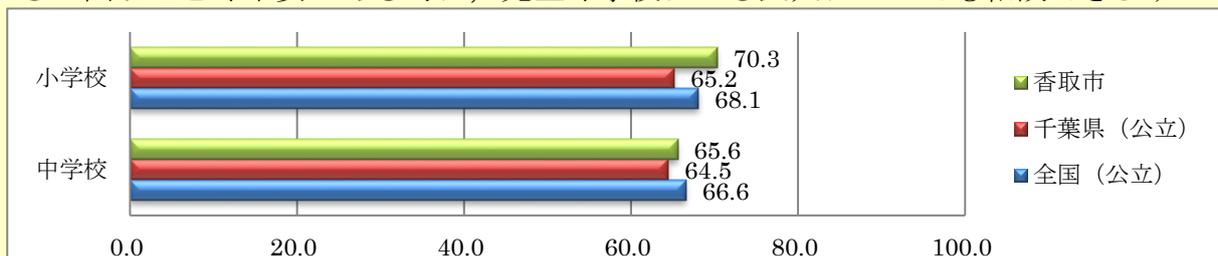
○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか



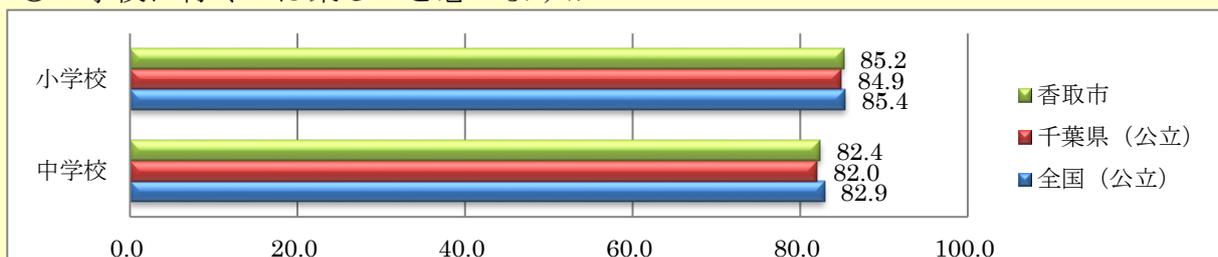
○ 人が困っているときは、進んで助けていますか



○ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



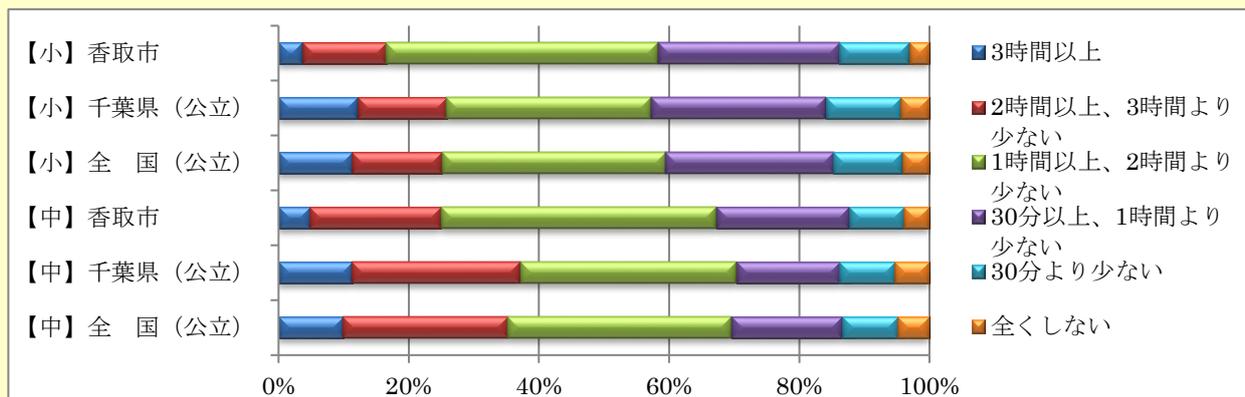
○ 学校に行くのは楽しいと思いますか



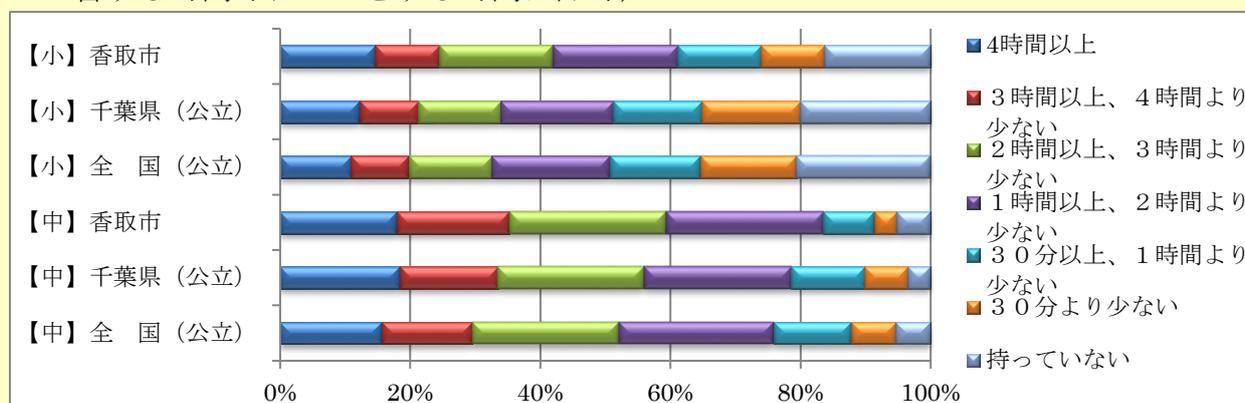
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか」の問いに対して、約90%の児童生徒が肯定的に回答しており、児童生徒と教職員の関係は比較的良好といえます。「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに対しては、全国や県と同程度の肯定的な回答が得られ、学校生活への安心感や充実感がある子が多いと考えられます。

一方で、肯定的に回答できなかった児童生徒の心情にも焦点を当て、その原因について教育相談等を通じて明らかにし、具体的な改善に取り組む必要があります。

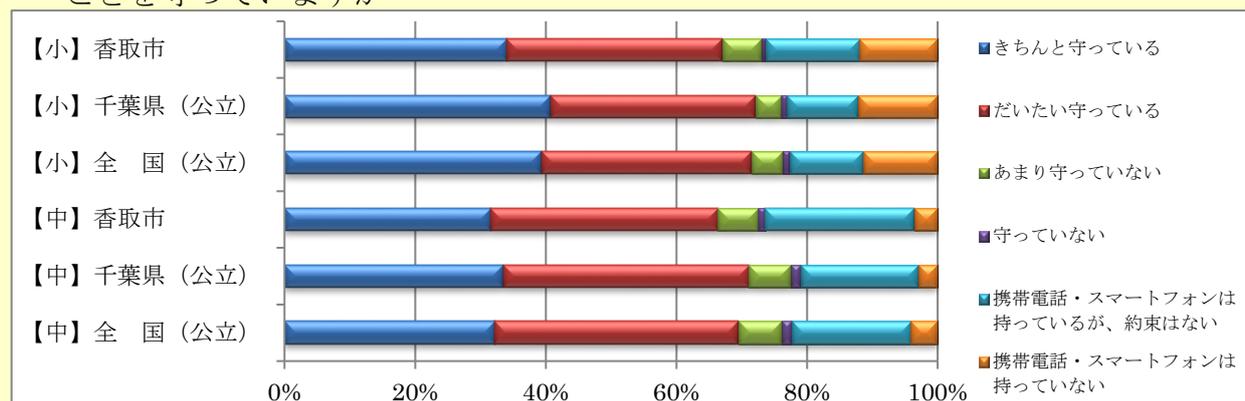
○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



○ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



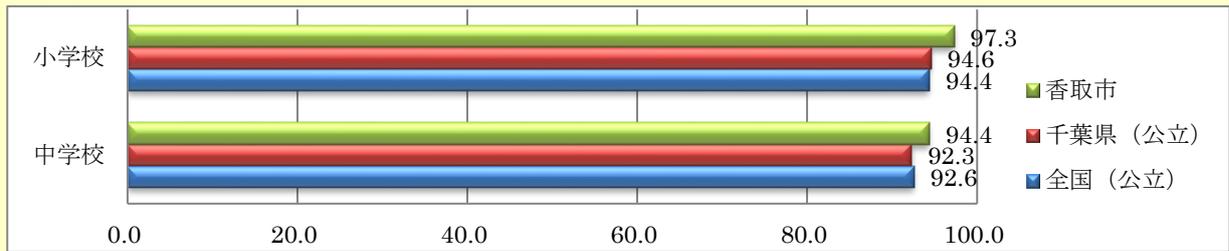
○ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



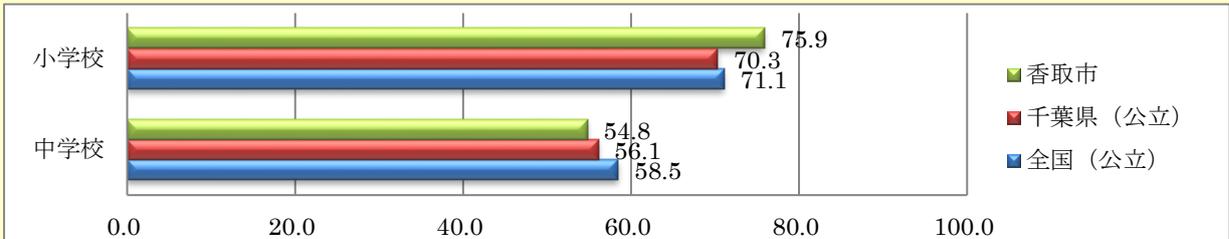
学校の授業以外に勉強する時間は、全国や県に比べ、3時間以上勉強する児童生徒の割合が低く、1時間以上2時間未満の勉強をする子の割合が多かったです。また、携帯電話やスマートフォンによる SNS や動画視聴に関しては、全国や県に比べ、1時間以上利用している子の割合が多かったです。

一方、携帯電話・スマートフォン等の使い方について、全国や県に比べ、香取市の児童生徒は「家の人との約束がない」と答えた割合が多かったです。

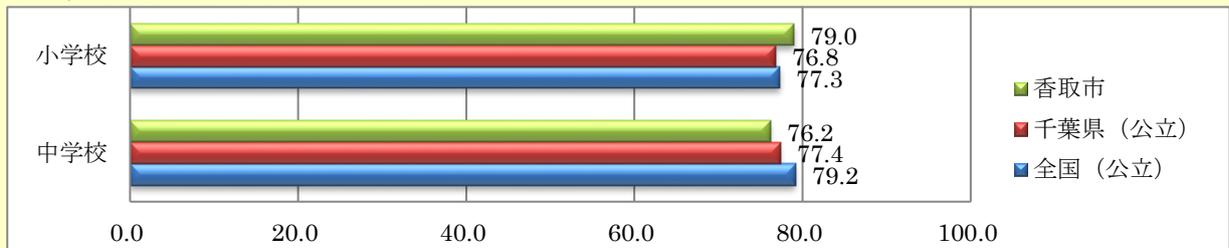
○ 学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは、勉強の役に立つと思いますか



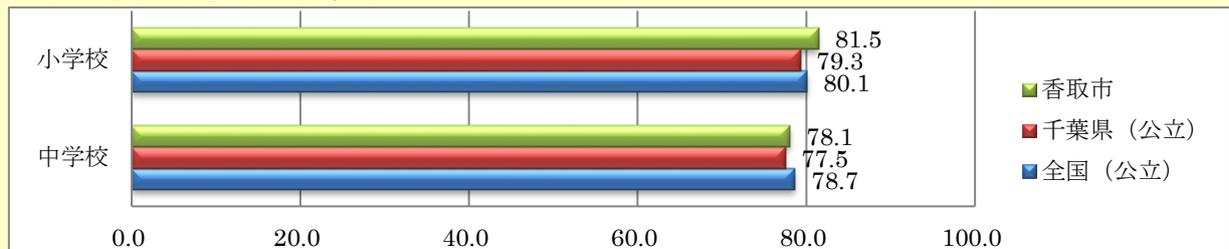
○ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)



○ 小学5年生・中学2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



○ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

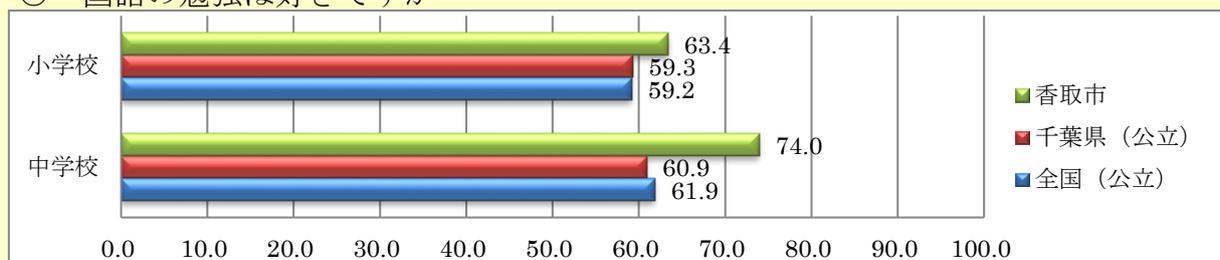


「学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは、勉強の役に立つと思いますか」の問いに対し、香取市の児童生徒は全国や県よりも高い割合で肯定的に答えており、ICT 機器の有用性を強く感じていることが分かります。

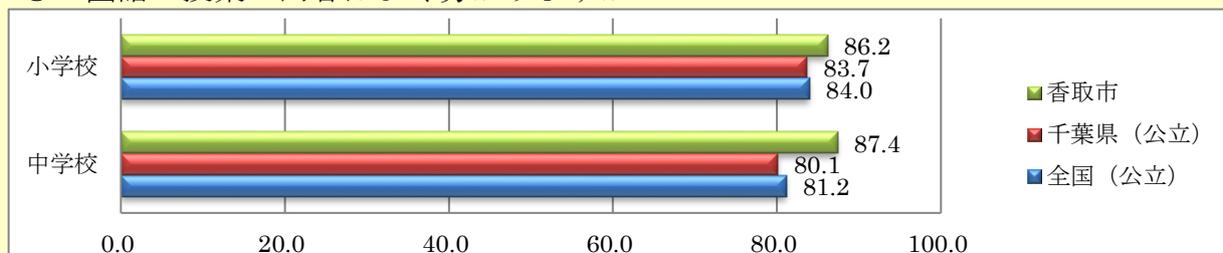
「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の問いに対し、特に小学校で高い割合の肯定的な回答がありました。家庭学習や自主学習の計画を立てられる子が多いと考えられます。中学校ではやや低い割合で表れていることから、学習における計画性を育てる手立てが必要といえます。

課題解決に向けて主体的に取り組む意識は全国や県と同程度であり、自分で考えて学べる児童生徒の割合が高いといえます。また、話し合いや対話等を通じて深い学びを得たり、学びを広げたりすることを実感できている児童生徒も約 80%います。

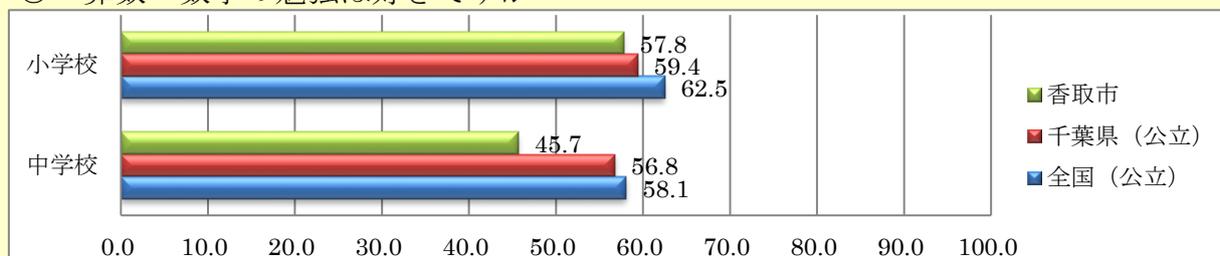
○ 国語の勉強は好きですか



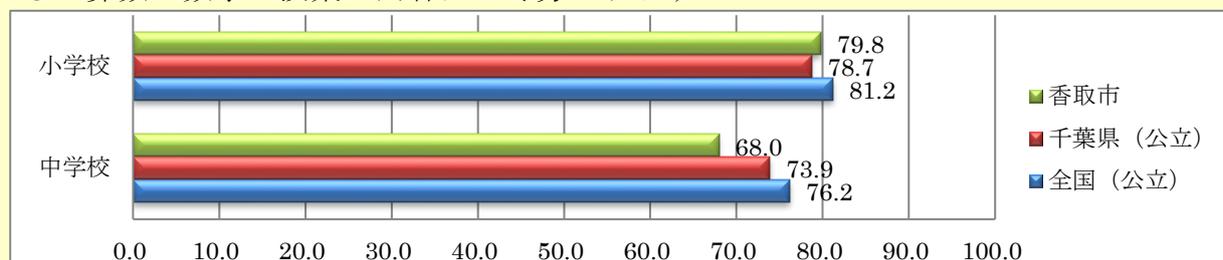
○ 国語の授業の内容はよく分かりますか



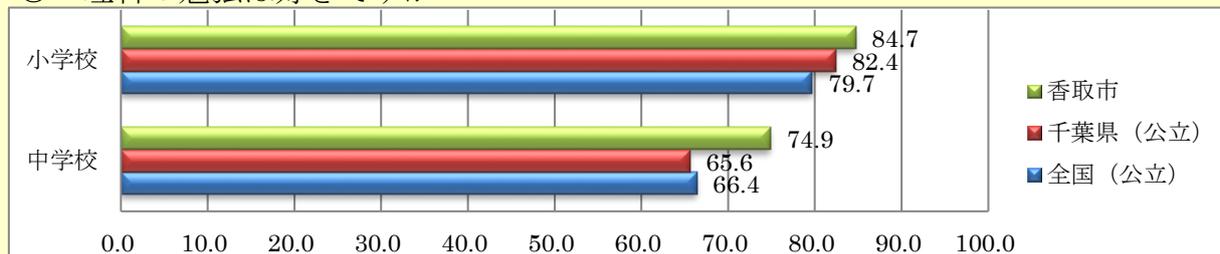
○ 算数・数学の勉強は好きですか



○ 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



○ 理科の勉強は好きですか



国語や理科については「好き」と答える児童生徒が多く、全国や県の割合を大きく上回っています。特に中学校国語への肯定的な回答の割合は非常に高く、理由のひとつに「授業の内容がよく分かる」ことが考えられます。

一方で、算数・数学について「好き」と答える児童生徒が少なく、全国や県と比較して低く表れました。特に中学校数学が低く、その一因として「授業の内容がよく分からない」ことが推察される結果となりました。大きな課題といえます。